



三菱自動車工業株式会社 2018年2月5日

エクリプス クロス



1. 2017年度 第3四半期決算 サマリー

2. 2017年度 第3四半期累計 地域別詳細

3. 2017年度 第3四半期 トピックス

4. 2017年度 通期業績 見通し

2017年度 第3四半期累計(4~12月) 業績サマリー【前年同期対比】



(単位: 億円、千台)

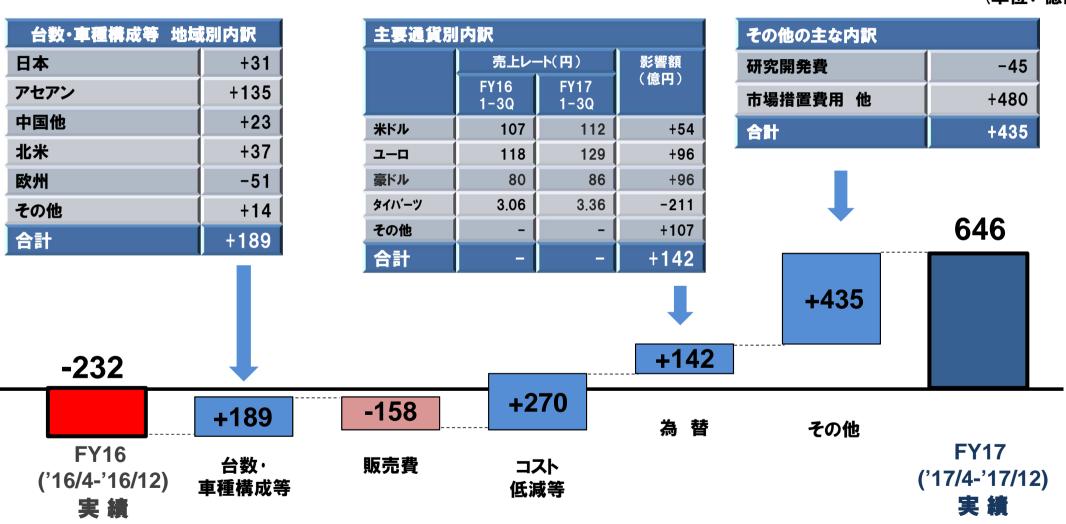
	FY16 ('16/4-'16/12)	FY17 ('17/4-'17/12)	増	咸
	実績	実績	差異	率
売上高	13,418	15,181	+1,763	+13%
営業利益 (利益率)	-232 (-1.7%)	646 (4.3%)	+878	-
経常利益	-222	811	+1,033	-
当期純利益*	-2,133	701	+2,834	-
販売台数 (小売台数)	673	777	+104	+15%

^{*}親会社株主に帰属する当期純利益

2017年度 第3四半期累計(4~12月) 営業利益増減分析[前年同期対比]



(単位: 億円)



2017年度 第3四半期 バランスシート(BS)/フリーキャッシュフロー(FCF)



(単位: 億円)

	・				
	FY16 実績 (17/3末)	FY17 3Q 実績 (17/12末)	増減		
資産合計	14,844	15,623	+779		
うち現金及び預金	5,568	5,342	-226		
負債合計	7,809	7,933	+124		
うち有利子負債	156	331	+175		
純資産合計	7,035	7,690	+655		
自己資本 (自己資本比率)	6,905 (46.5%)	7,518 (48.1%)	+613		
ネットキャッシュ	5,412	5,011	-401		
	FY16 3Q 実績 ('16/4-'16/12)	FY17 3Q 実績 (*17/4-*17/12)	増減		
フリーキャッシュフロー	-1,185	-271	+914		



1. 2017年度 第3四半期決算 サマリー

2. 2017年度 第3四半期累計 地域別詳細

3. 2017年度 第3四半期 トピックス

4. 2017年度 通期業績 見通し

2017年度 第3四半期累計(4~12月) 小売台数実績 【前年同期対比】



小売台数(単位:千台	+15%			
		777	地域	前年同期対比
	673	62	日本	+24%
	50 150	187	アセアン	+25%
	79	119	中国他	+51%
	105	108	北米	+3%
	132	134	欧州 (含むロシア)	+2%
i	62	71	豪州·NZ	+15%
	95	96	その他	+1%
	FY16	FY17		

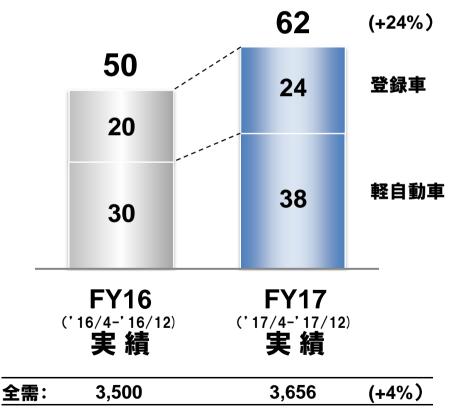
('16/4-'16/12) **実績** FY17 (*17/4-*17/12) 実績

(注) FY17よりプエルトリコは「その他」から「北米」に地域区分を変更。 それに合わせ、上記FY16実績数値も同様に変更。

2017年度 第3四半期累計(4~12月) 地域別実績:日本



小売台数(単位:千台)





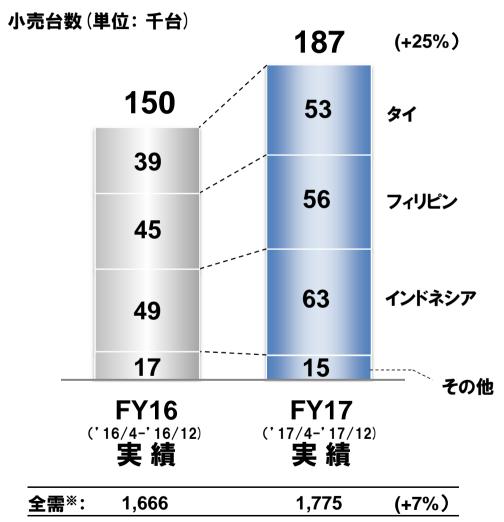


電動ドライブステーション (左:神戸店、右:北海道 北野店)

- 小売台数:62千台
- ・軽の復調と「ACTIVE GEAR」シリーズが販売を牽引
- ・12月よりエクリプスクロスの事前受注開始(18/3発売) 「ナイトショールーム」:新しいクルマ選び体験提供
- ・電動ドライブステーションの順調な展開

2017年度 第3四半期累計(4~12月) 地域別実績:アセアン





※:全需は当社調べ(タイ、フィリピン、インドネシアの合計)



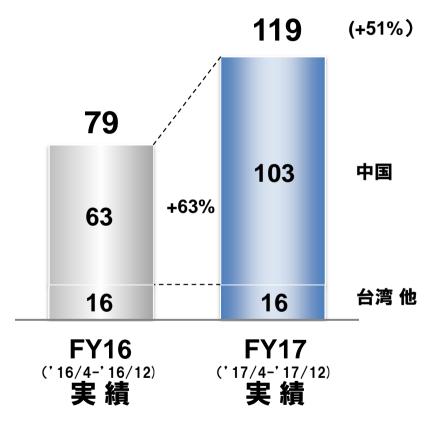
エクスパンダーを展示するインドネシアディーラー

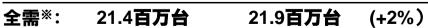
- 小売台数:187千台
- ・主要3カ国の販売が好調に推移
- ・インドネシア:
- > 新体制(製造・販売)の順調な立ち上がり
- > エクスパンダーの好調な受注

2017年度 第3四半期累計(4~12月) 地域別実績:中国



小売台数(単位:千台)





※:全需は当社調べ(中国のみ)



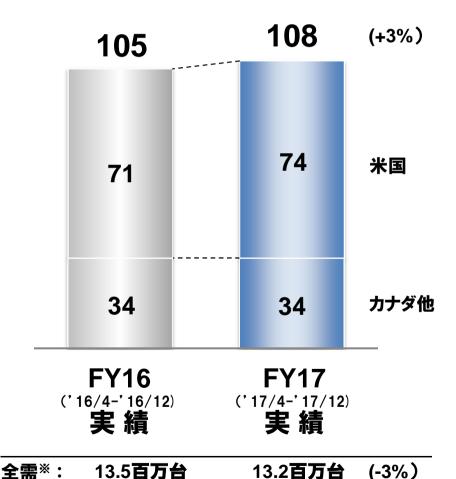
GMMCの工場

- 小売台数:119千台
- ・アウトランダー販売好調持続
- ・販売網の拡充促進
- ▶ 2017年12月末時点で300店舗を達成

2017年度 第3四半期累計(4~12月) 地域別実績:北米



小売台数(単位:千台)



全需は当社調べ(米国のみ)



アウトランダーPHEV

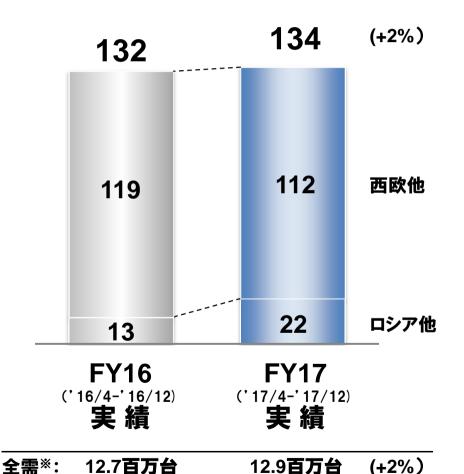
- 小売台数:108千台
- ・米国:全需が前年比減、厳しい販売競争が続く
- ・アウトランダーを中心に前年を上回る販売を達成
- ・新型車を投入
- ▶ '18/1にエクリプス クロスを導入

(注) FY17よりプエルトリコは「その他」から「北米」に地域区分を変更。 それに合わせ、上記FY16実績数値も同様に変更。

2017年度 第3四半期累計(4~12月) 地域別実績:欧州(含むロシア)



小売台数(単位:千台)



土而"。 12.7日月日 12.9日月日 (T2

※:全需は当社調べ(EU28、EFTAの合計)



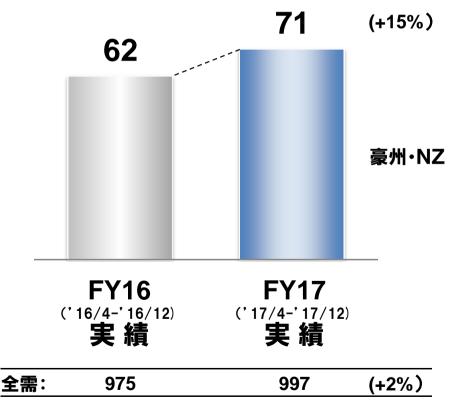
パジェロスポーツの生産を再開したロシア工場

- 小売台数:134千台
- <西欧>
- ・ドイツ、イギリスで堅調な販売を維持
- ・エクリプス クロスの順調な立ち上がり
- **<ロシア>**
- ・新型パジェロスポーツの生産再開
- ・販売は全需を上回る力強い回復

2017年度 第3四半期累計(4~12月) 地域別実績:豪州·NZ



小売台数(単位:千台)



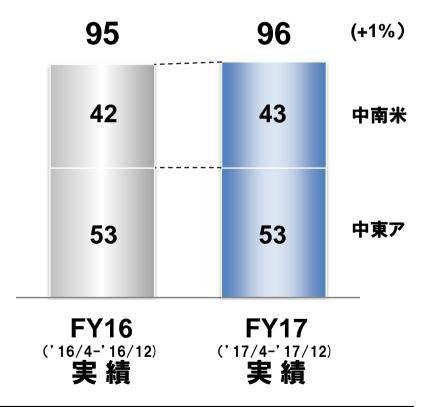
トライトン

- 小売台数:71千台
- ·拡大傾向にあるSUV/小型商用車市場
- ・当社販売も堅調に推移
- •アウトランダーPHEVがGreen Car of the Year。 を受賞

2017年度 第3四半期累計(4~12月) 地域別実績:中南米・中東ア



小売台数(単位:千台)



全需*: 3,895 3,920 (+1%)

※:全需は当社調べ(中南米、GCCの合計)



パジェロスポーツ

- 小売台数:96千台
- ・中東はフリート商談の獲得による台数増
- ・中南米はピックアップを中心に台数増

(注)FY17よりプエルトリコは「その他」から「北米」に地域区分を変更。 それに合わせ、上記FY16実績数値も同様に変更。



1. 2017年度 第3四半期決算 サマリー

2. 2017年度 第3四半期累計 地域別詳細

3. 2017年度 第3四半期 トピックス

4. 2017年度 通期業績 見通し

新型2車種の販売立ち上がり状況



エクスパンダー



エクリプス クロス

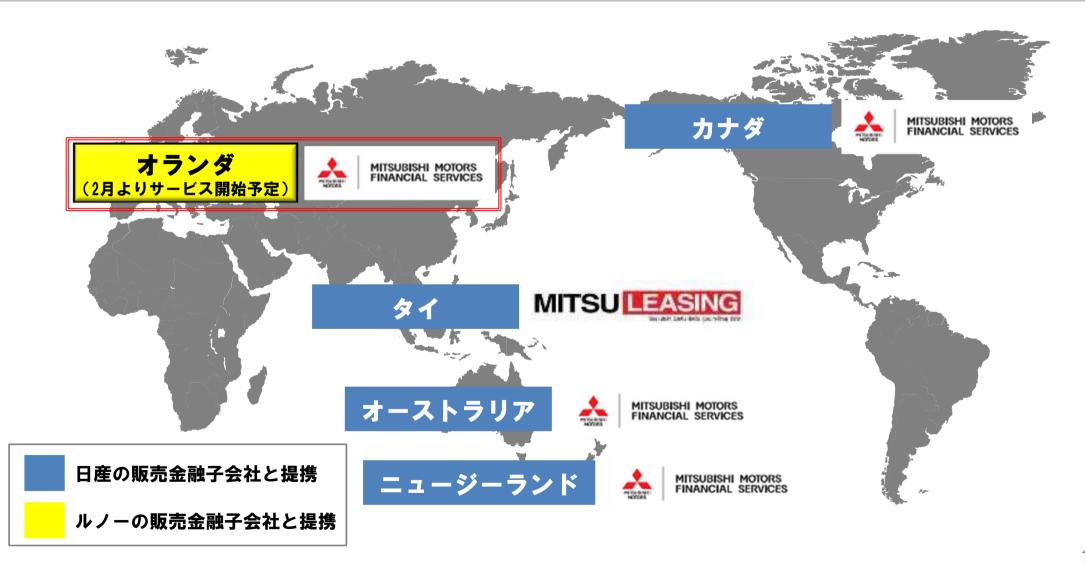


エクリプス クロス NIGHT SHOWROOMの様子

- ・インドネシアで10月より販売開始
- ・好調な受注:5万8千台超の受注(1月末)
- ・世界:4千台超の販売実績(1月末)
- ・日本:3千台超の予約受注(1月末)
- ・グッドデザイン賞を受賞

顧客サービスの強化: 販売金融





生産体制の整備



国内



・12月20日より、『RVR』の生産を 岡崎製作所から水島製作所に移管

インドネシア



・好調な『エクスパンダー』のオーダーにより、2直生産体制を前倒し

設備投資·研究開発費



試験研究設備



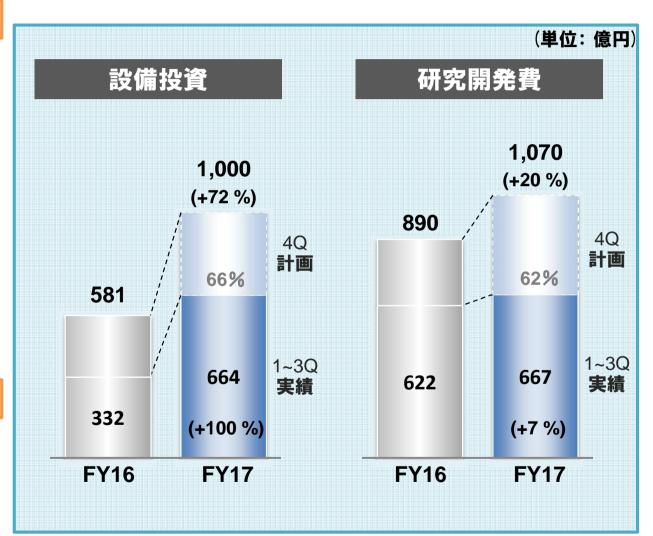
風洞試験棟



環境試験棟

販売ネットワーク投資





新車投入



エクスパンダー



エクリプス クロス

IT投資





1. 2017年度 第3四半期決算 サマリー

2. 2017年度 第3四半期累計 地域別詳細

3. 2017年度 第3四半期 トピックス

4. 2017年度 通期業績 見通し

2017年度 通期業績見通し【前回公表対比】



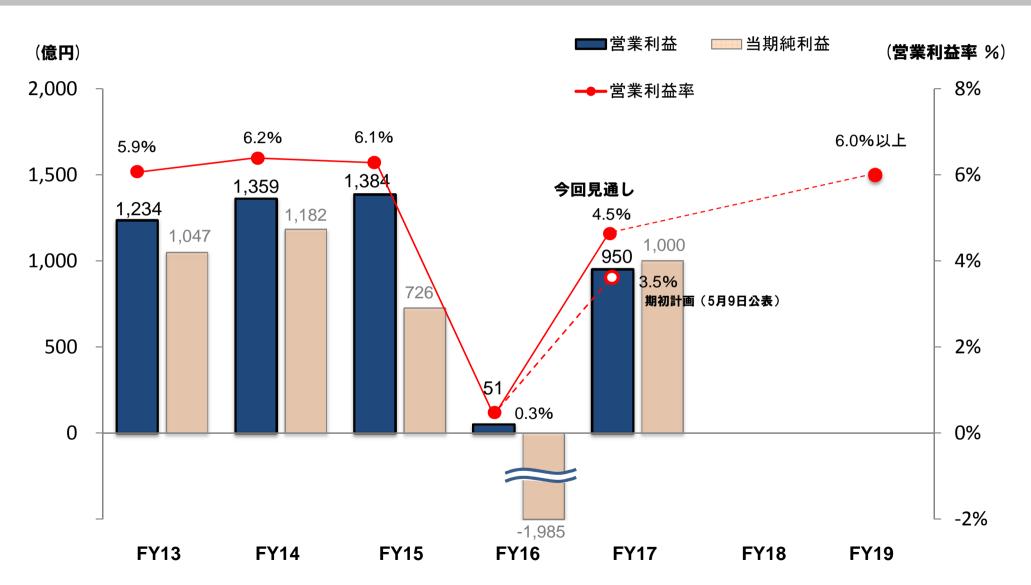
(単位: 億円、千台)

	期初見通し	今回見通し	増	減
	(5月公表)	(2月公表)	差異	<u> </u>
売 上 高	20,000	21,000	+1,000	+5%
営業利益 (利益率)	700 (3.5%)	950 (4.5%)	+250	+36%
経常利益	790	1,100	+310	+39%
当期純利益*	680	1,000	+320	+47%
販売台数 (小売台数)	1,029	1,090	+61	+6%

^{*}親会社株主に帰属する当期純利益

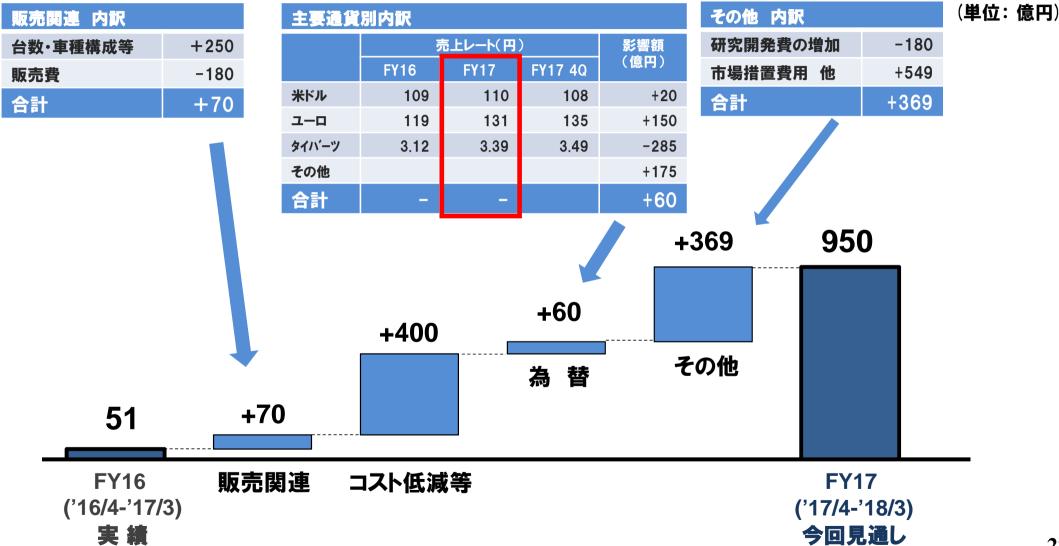
営業利益率推移 ~V字回復の軌道に乗せるトレンドを堅持~





2017年度 通期見通し【前年度対比】



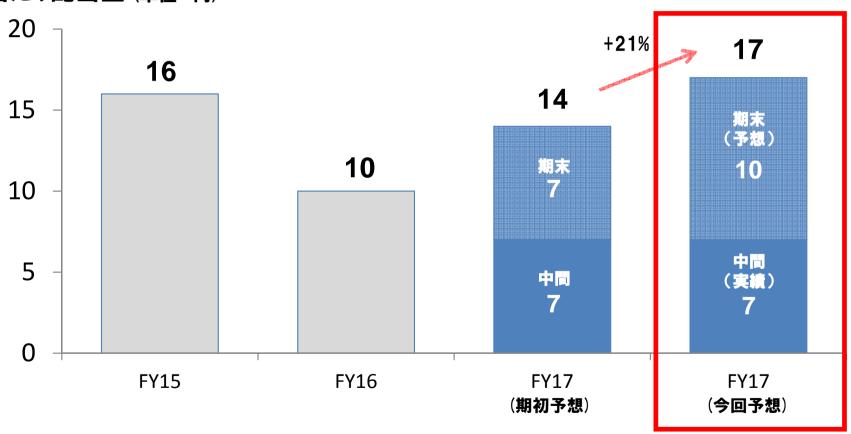


株主還元



年間配当予想を17円(3円増配)に見直し

1株当たり配当金 (単位: 円)









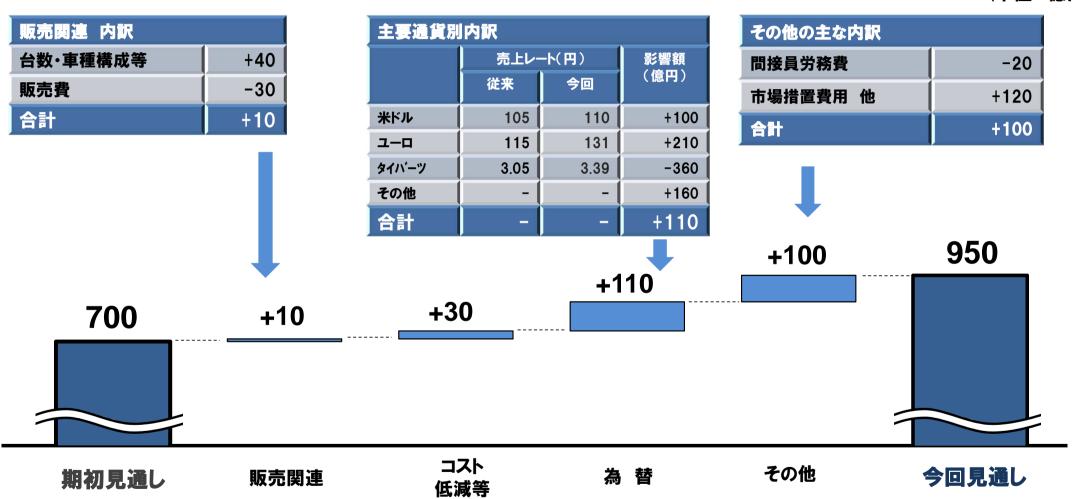


Appendix

2017年度 通期 営業利益見通し増減分析 [前回公表対比]



(単位: 億円)



2017年度 第3四半期累計(4~12月) 地域別業績[前年同期対比]



(単位: 億円)

	売上高			営業利益			
	FY16 実績 ('16/4-'16/12)	FY17 実績 ('17/4-'17/12)	増減	FY16 実績 ('16/4-'16/12)	FY17 実績 ('17/4-'17/12)	増減	
合計	13,418	15,181	+1,763	-232	646	+878	
- 日本	1,885	2,391	+506	-244	-159	+85	
- アセアン	2,440	3,587	+1,147	313	336	+23	
- 中国他	614	664	+50	19	136	+117	
- 北米	2,150	2,380	+230	-178	6	+184	
- 欧州	3,285	3,035	-250	-273	63	+336	
- その他	3,044	3,124	+80	131	264	+133	

2017年度 第3四半期(10~12月) 営業利益増減分析 [前年同期対比]

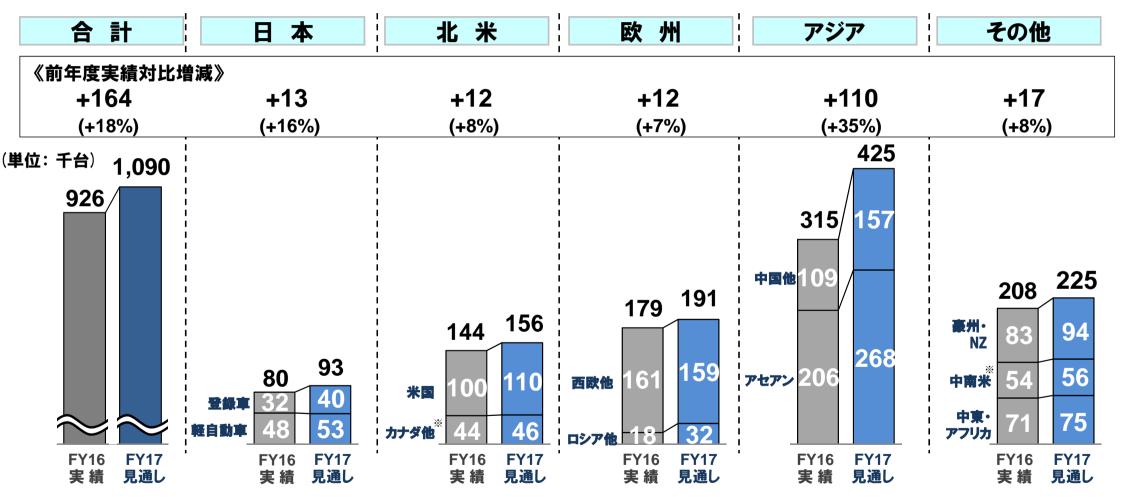


台数・車種構成等 均	也域別内訳	主要通貨別	内訳			その他の主な内訳	
日本	-9		売上レ-	-ト(円)	影響額	研究開発費	-26
アセアン	+58		FY16 3Q	FY17 3Q	(億円)	市場措置費用 他	-107
中国他	-11	米ドル	107	113	+26	合計	-133
北米	+43	ユーロ	116	133	+57	Hei	
欧州	+1	豪ドル	80	86	+39		
その他	+28	タイパーツ	3.12	3.42	-68		
合計	+110	合計	_	-	+79		
単位: 億円)					1		
					+133	-133	204
84	+110	-66	+	. 76			
FY16 ('16/10-'16/12) 実績	台数 · 車種構成等	販売費		Iスト 減等	為替	その他 (FY17 '17/10-'17/12 実績

2017年度 小売台数見通し【前年度対比】



~ アセアン、中国、日本を中心に台数増~



※FY17よりプエルトリコは「その他」から「北米」に地域区分を変更。それに合わせ、上記グラフのFY16実績も同様に変更

2017年度 地域別売上高見通し [前年度 及び 期初見通し対比]



(単位: 億円)

	① FY16 実績	② FY17	③ FY17	増減		
	('16/4-'17/3)	('17/4-'18/3) 期初見通し	('17/4-'18/3) 今回見通し	対前年実績 (③-①)	対期初見通し (③-②)	
売 上 高	19,066	20,000	21,000	+1,934	+1,000	
- 日本	2,973	3,500	3,600	+627	+100	
- 北米	3,100	3,200	3,500	+400	+300	
- 欧州	4,335	4,400	4,200	-135	-200	
- アジア	4,335	5,200	5,500	+1,165	+300	
- その他	4,323	3,700	4,200	-123	+500	

(注) FY17よりプエルトリコは「その他」から「北米」に地域区分を変更。それに合わせ、上記FY16実績数値も同様に変更。

設備投資·減価償却費·研究開発費



(単位: 億円)

	FY16	FY17	FY17
	('16/4-'16/12)	('17/4-'17/12)	('17/4-'18/3)
	実績	実績	見通し
設備投資(前年同期比)	332	664	1,000
	(-29%)	(+100%)	(+72%)
減価償却費	347	371	530
(前年同期比)	(-13%)	(+7%)	(+15%)
研究開発費 (前年同期比)	622	667	1,070
	(+8%)	(+7%)	(+20%)

中期経営計画



DRIVE FOR GROWTH (FY17 - FY19)

X P FY19 小売台数:130万台 (FY16対比 +40%) FY19 売上高:2兆5000億円 (FY16対比 +30%)

FY19 営業利益率:6%以上 FY17-19 フリーキャッシュフロー の黒字化

戦略的施策

商品の刷新

中核市場への注力により、 売上成長を実現

コスト最適化

基盤整備

持続的成長のための体制作り

長期的戦略に基づくアライアンスの活用



本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する 義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもっ てご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が 発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。